

# Welcome to RIHN Laboratory!

## 地球研実験施設をぜひ活用してください

— 総合地球環境学の礎となる環境測定 —

実験施設の維持管理、技術開発を担当している研究高度化支援センターの計測・分析部門です。

地球研は地球規模の環境問題を「人と自然の相互作用環」の問題であり「人の生き方、文化の問題」であると捉え、多分野の叡智を集めて総合的にプロジェクト研究を遂行し、総合地球環境学の構築を目指しています。

その基礎として最新の安定同位体測定技術、元素測定技術、DNA分析技術を使った実験施設での環境測定は不可欠です。長期的な地球・地域環境のモニタリングによって初めて「人と自然の相互作用環」の変化を正しく記載できます。それによって新しい議論や解決方法の模索を展開することが可能になります。

研究高度化支援センターの計測・分析部門は、地球研プロジェクト等に参加する国内外の多くの研究機関・研究者と協力してこのミッションを主導していきます。

総合地球環境学の構築を目指して地球研の実験施設を活用していただければ幸いです。

## 実験施設に関するお問い合わせ

1.メール

E-mail [doitai@chikyu.ac.jp](mailto:doitai@chikyu.ac.jp)

2.ウェブサイト

URL <http://www.chikyu.ac.jp/laboratories/lab.html>

(地球研ウェブサイトトップページ左側「実験施設」をクリック)

総合地球環境学研究所  
研究高度化支援センター (CRP)  
計測・分析部門

〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457番地4  
TEL.075-707-2100 (代表) FAX.075-707-2106



## 共有機器について

地球研の実験施設には、地球研プロジェクト及び所外の大学・研究機関が利用できる「共通機器」があります。

### 〈計測・分析部門管轄の共通機器〉

- TMS 【TRITON】
- マルチコレクタICP-MS 【NEPTUNE plus】
- Geガンマ線スペクトロメーター
- IR-MS 【Delta V Advantage, Delta V Plus, Delta Plus XP】  
(有機物[H・O], 有機物[C・N], 水[H・O], 炭酸塩[C・O], [S], リン酸[O])
- ICP-MS 【7500cx】
- イオンクロマトグラフィー 【ICS-3000, ICS-90】
- 水同位体分析装置 【L2130-i, L2120-i】
- 電子顕微鏡等 【TM-1000, VHX-2000等】
- ミキサーミル 【MM-400】
- 試料切断研磨装置 【Minitom, Discoplan-TS】
- 試料微粉碎装置 【HP-MS】

(手法開発中の機器も有り)

※計測・分析部門以外のプロジェクト等が管轄している機器もあります。

## 共有機器を利用するには

### 【利用条件】

- 地球研外の大学・研究機関が利用するには、
- 地球研の研究者との共同研究事業への参加
  - 同位体環境学共同研究事業への参加

このいずれかの条件を満たす必要があります。

### 【課金】

共通機器利用の際には検体数や使用時間に応じた消耗物品に対して課金いたします。  
詳しくは実験室ホームページ内「共有実験機器一覧」をご覧ください。



大学共同利用機関法人  
人間文化研究機構

総合地球環境学研究所

# 実験施設のご案内

# 地球研実験施設の概要

(平成25年10月1日現在)

置  
(FlashEA-ConFloIII-DeltaVadvantage)

水同位体分析装置  
(L2120-i)

イオンクロマトグラフィー (ICS-3000)

TIMS (TRITON)

マルチコレクタ ICP-MS  
(NEPTUNE plus)